

第七十五回春季善行表彰並びに特別善行表彰式を開催

春季善行個人五十一・団体二十三、特別善行個人・百三十三表彰



一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: <http://www.zenkoukai.or.jp>
メール: info@zenkoukai.or.jp

奇数月1日発行
編集発行人 勝野 堅介

善行は、社会を
照らすともしび。

令和七年度春季善行・特別善行表彰式を、五月十七日(土)午後一時三十分から明治神宮参集殿において、多数のご来賓、本会役員等の出席の下に開催した。今回の表彰式は、昭和二十六年に善行表彰が開始されてから、七十五回目、五十一名の個人と二十三の団体計七十四件が表彰された。

また、特別善行表彰は、善行表彰受賞後も引き続き相当期間、善行活動を継続している方々を対象にした表彰であり、その善行活動の実績により、善行金章と同銀章がある。今回の受賞者は、善行金章が四十四名、同銀章が八十九名計百三十三名であった。

表彰式は、国歌斉唱の後、高田副会長の「開式のことば」で始まり、次に、山下副会長から日本善行会の紹介の後、勝野会長が主催者としての挨拶を行った。

それから、善行表彰受賞者選考委員会を代表して、富士道正選考委員長から選考経過報告が行われた後、受賞者の表彰に進んだ。表彰は、春季善行表彰から

始まり、司会者が受賞者の名前を読み上げ、各受賞者は順次ステージに上がり、勝野会長から、表彰状と善行章が授与され、得賞歌の流れる中、参加者の盛大な拍手で祝福された。

更に、特別表彰善行金章・銀章の表彰に移り、善行表彰と同様、順次勝野会長から各受賞者に対し、表彰状と善行金章・同銀章が授与され、参加者の拍手で祝福された。

その後、来賓の祝辞に移り、千葉県君津市長の石井宏子氏、前年度特別善行表彰の高橋睦夫氏、在日米空軍横田基地横田第三七四齒科中隊司令アイリス・オーティス・ゴンザレス大佐が祝辞をそれぞれ述べられた。

次いで祝電が披露された後、春季受賞者代表の小林秀明氏と善行金章受賞の大和英雄氏がそれぞれ挨拶を行った。その後、松尾ゆずり氏による「日本善行会の歌」の紹介と歌唱指導があり、出席者の歌声が会場に響き渡った。祝芸では湯河原町土肥会焼亡の舞(じょうもうのまい)保存会による舞が披露され、琵琶演奏に合わせて舞う優雅な様子に、会場は一層和やかな空気に包まれた。最後に山下副会長による「閉式のことば」が述べられ、式は滞りなく終了した。

式 辞

一般社団法人日本善行会

会長 勝野 堅介



本日ここに、多数のご来賓のご臨席を賜り、令和七年度春季善行表彰式及び特別善行表彰式を執り行うに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたび、受賞を受けられます皆様は、北は北海道から南は沖縄県まで、地域社会において、勇気をもって愛の手を差し延べられ、善行を実践された方々であります。

この中には国を越えて日本の地域社会のために善行を行って下さった外国の方々、更に、既に善行表彰を受賞され、その後も長年にわたり善行を継続し、特別善行金章・銀章表彰を受けられる方々がおります。

受賞者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本日の受賞を心からお祝い申し上げます。日本善行会は、昭和十二年に設立され、今年は創立八十八周年になります。これまでに、春季善行表彰は七十五回、特別善行表彰は三十一回を重ね

ねてまいりました。そして春季、秋季善行表彰、特別善行表彰を合わせて五万八百八名の方が善行表彰を受賞されています。また、本会には全国に七十七の支部があり、二千五百名余の会員の方々が「善行は社会を明るくするとしび」を、あい言葉に、力をあわせ、青少年の健全育成や非行防止活動、社会福祉施設慰問、交通安全運動、環境美化運動、国際貢献等の善行実践活動と善行精神の普及啓発に取り組み、明るく住みよい社会の実現のために、活動を続けております。

本日、受賞を受けられます皆様も、受賞を契機に、更なる善行を重ねられますよう期待いたしております。日本善行会の精神は、自分の立場や考えに固執せず、思いやりの精神で人に接し、明るく住みよい社会を建設していくというところにあります。人を信頼し、その心を思いやり、尊重して、その人を育てていくという温かい思いやりと奉仕の精神に支えられた一つ一つの善行が積み重なり、継続することによって長い間には大きな輪となって広がり、日本を、ひいては世界を明るく住みよい社会とする原動力になるものと確信しております。

本日ご列席のご来賓並びに関係者の皆様には、この頼もしい受賞者の皆様に対しまして、今後とも温かく見守り、応援していただきますよう、お願い申し上げます。

終わりに、本日受賞されます皆様、並びにご列席いただきました方々のご健勝と、益々のご活躍をお祈り申し上げ、私のご挨拶と致します。

祝電を 寄せられた方々 (順不同敬称略)

- | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------------|---------------|-----------------|-------------------------------|------------------------|
| 宮城県知事 村井 嘉浩 | 群馬県知事 山本 一太 | 茨城県知事 大井川和彦 | 荒川区長 滝口 学 | 大田区長 鈴木 晶雅 | 北区長 やまだ加奈子 | 流山市長 井崎 義治 | 流山市消防本部消防長 須藤 恭成 | 足立区総務部長 松野 美幸 | 品川区地域振興部長 川島 淳成 | 滋賀県こども若者部 子ども若者政策・私学振興課長 川副 馨 | 日本善行会 理事・前福島県支部長 山崎 久夫 |
|-------------|-------------|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------------|---------------|-----------------|-------------------------------|------------------------|

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。

選考経過報告

選考委員長



富士道 正 尋

皆様、本日は大変おめでとうございます。
選考委員会を代表いたしまして、簡単に選考の経過をご報告申し上げます。

ります。第三に「国際貢献表彰」では、国際的な人道援助や文化交流に尽力された方々を対象とします。第四に「外国人善行表彰」では、日本社会に貢献された外国人の方々の善行を称えます。
去る三月十四日、東京都新宿区のグランドヒル市ヶ谷会議室におきまして、春季善行表彰選考委員会を開催いたしました。
本日、表彰をお受けになる皆様方は、大きく四部門に分けられます。
第一に「青少年善行表彰」では、青少年による模範的な善行を称えます。第二に「緊急時貢献表彰」では、人命救助や災害対応などにおいて貢献された方々に栄誉を贈ります。第三に「国際貢献表彰」では、国際的な人道援助や文化交流に尽力された方々を対象とします。第四に「外国人善行表彰」では、日本社会に貢献された外国人の方々の善行を称えます。
これら多岐にわたる善行をされた方々に対しまして、慎重な審議の結果、青少年善行表彰、緊急時貢献表彰、国際貢献表彰、外国人善行表彰を合わせて、五十一名と二十三団体の方々が受賞されることが決定しました。
また、本日ご受賞となる「特別善行表彰」につきましても、三月十四日に同じ会場で開催された選考委員会により、善行

祝 辞

千葉県君津市長



石 井 宏 子

皆様こんにちは。千葉県君津市長の石井宏子でございます。
一般社団法人日本善行会「令和七年度春季善行・特別善行表彰式」にあたり、お祝いのごあいさつ

んなのしあわせのために、明るくすみよい社会環境づくり」に御尽力いただけるようご期待申し上げます。
また、本市から推薦し、本日受賞されたつばさインターナショナル・アカデミー様におかれましては、ウクライナから本市に避難した青年二名に対し、無償で日本語学習の機会をご提供いただくとともに、生活指導や進路指導など日本で生活する上で必要不可欠となる教育を三年にわたって継続いただきました。
来日当初は、日本語が全く話せない状況でしたが、つばさインターナショナル・アカデミー様のご支援により専門学校

祝 辞

昨年度受賞者代表 金賞受賞者
岩手県南支部長



高 橋 睦 夫

由緒ある、ここ明治神宮の杜にも、新緑輝く時節となりました。
只今は、本年度春季善行表彰並びに特別善行表彰式が、厳粛な中に挙行されました。
青少年善行、緊急時貢献、国際貢献、更には外国人善行、そして特別金章、銀章を受章なされま

られて、明るいニュースとして報じられることは、大変意義深いものだと思います。
世の中が、いかように変わろうとも、人として、他人を気遣い、助け、お世話できることは、例え、富がなくても、いくらでもできることがあるのではないのでしょうか。
善は、愛から、勇気からです。やればできるのです。日本善行会の理念に、是非ご賛同いただき、私共とともに善行活動を継続していただきたいと思います。
余談になるとありますが、私は、いま世界中で、連日一番明るいニュースを提供している男、メジャーリーグ・ドジャースの「大谷翔平」の出身地、岩手県は奥州市の日本善行会岩手県南支部長の高橋睦夫です。
大谷選手は、今年も絶好調と連日報道されております。昨年は、全国の小学校に「グローブ」を寄贈したことも、記憶に新しい善行ニュースでした。まさに「勇気ある行動」と、誇りに思っております。
皆様方には、今日この受賞を契機といたしまして、善行活動を継続なされとともに、善行者の発掘、善行活動の啓発等、日本善行会を通じて、私共とともに、明るく住みよい社会環境づくりに励まれますようご期待を申し上げます。
ありがとうございます。

祝 辞

横田基地 第三七四歯科中隊司令

アイリス・オーティス・

ゴンザレス大佐



こんにちは、横田基地第三七四歯科中隊司令のアイリス・オーティス・ゴンザレス大佐です。本日は、明治神宮において本年度の善行

います。この豊かな杜を作るために昔、日本人々が十萬本以上の木を寄贈したこの場所は今日の表彰式が行われるのに大変ふさわしい場所だと感じます。
数え切れない善意が、この素晴らしい自然が育まれ「自分よりも他を敬う」ということを具現しています。私たち軍人やパートナー国の献身から恩恵を受けているのと同じように、我々は皆この奉仕する寛大な心から恩恵を受けています。
本年度の善行会賞受賞者は、在日米空軍の最高の理想を体現しています。
彼らはボランティアとして献身的に活動し、日本の地域社会をより良くするための幅広いコミュニケーション活動に貢献しています。
候補者の皆さん、受賞者の皆さん、本当におめでとうございます。皆さんの行動が今後も地域社会に貢献し、日米間の絆を深めていく事を心から願っています。また、このような授与式によって互いを思いやる風土を後押ししてくださっている善行会に感謝します。
ありがとうございます。

答 辞

宇都宮大学
障がい児支援サークルNOBA代表
小林 秀明



こんにちは。私は、宇都宮大学・障がい児支援サークルNOBA代表の小林秀明です。この度は、歴史あるここ、明治神宮参集殿におきまして、令和七年度春季善行表彰を頂戴し大変光栄に思います。受賞者を代表し、御礼申し上げます。早速ですが、皆様にお聞きしたいことがあります。

「気軽に公共交通機関を利用することができない」「周りの目が気になって気軽に遊園地や近くの公園に行くことができない」「これらの言葉は一体だれが発した言葉でしょうか。」「思春期や反抗期の子どもの？」「妊婦さん？」様々な解釈があるかもしれません。この言葉は、障がいのある子どもを持つ親御さんのふと発した言葉です。この二つの言葉から、私たちは、社会側にある障壁に目を向け、障がいの有無に関わらず生活する「No Barrierな社会」を目指しています。今日は、サークルのイベントの柱となった「NOBA祭」について紹介させていただきます。このイベントは、「障がいの有無に関わらず子供たちがお互いに

楽しめるNOBA初のインクルーシブなイベントでした。これまでは、障がいのある子どもを対象としたイベントを実施してきません。しかし、このときは「No Barrierな社会」を自分たちなりに見つめなおし、新しいイベントの形を生みだしました。私自身も参加し、障がいのある子どもとそうでない子ども、こんなにも分け隔てなく楽しむことができるんだ！と深く実感しました。結びに、皆様にも、一度考えていただきたいことがあります。それは「誰もが暮らしやすい社会とはどういう社会か」ということです。私たちもその答えはわかっています。この答えを追い求めるべく、私たちはこれからも挑戦を続けていきます。そして、この会場にいる皆様とともに「No Barrierな社会」を創っていきたいです。本日はありがとうございました。稚拙ながら代表のあいさつとさせていただきます。

答 辞

受賞者代表



大 和 英 雄

この度、私も、由緒ある、ここ明治神宮参集殿において、特別善行金章という栄えある賞を頂戴することができ、誠にありがとうございます。受賞者を代表いたしまして、心より感謝と御礼を申し上げます。私は以前から永年にわたり、地域の公民館や老人福祉施設を訪れ、侵入窃盗や振込詐欺、交通事故

故、薬物乱用など、生活の中に潜む危険をテーマにした落語調の小話を通じて、身近な啓発活動を行ってきました。笑いを交えながら多くの方々へ危険への注意喚起を届けるこの活動は、皆様との交流を深める重要な場となり、地域社会の安心・安全づくりに一役買ったことを誇りに思っています。近年では、インターネット社会の進展に伴う新たな課題も浮上しており、善行精神をもとに青少年や高齢者の安全を守るための活動がより重要となっています。と実感しています。

私自身、この活動を通じて、地域の皆様との連携の大切さを学び、さらに広がる善行の輪を支える努力を続けてまいりました。今回の受賞は、一人の力ではなく、地域の皆様や関係者の温かいご支援の賜物です。この栄誉を励みに、これから善行の精神を広げ、次世代を担う子どもたちや地域社会への貢献を続けて参る所存であります。最後にになりましたが、日本善行会のごさるご発展と本日ご臨席された皆様方の益々のご多幸・ご健勝とご活躍をご心より祈念し、簡単ではございますが私の答辞とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

受賞者の
喜びの声

●●金 章●●



「国際交流で
子どもたちに感動を」

熊本県宇土市
九谷 新吾

この度は令和七年度春季善行表彰において特別善行金賞の栄を賜り心より御礼申し上げます。英子さんも通っていた英語教室に端を発して国際交流に取り組み二十数年、外国から延べ七百名

超える方々を「茶の間の国際交流」と題してホームステイで受け入れ、さらに、「子どもたちに夢と感動を」と「青少年の翼」等で百名を超える子どもたちを引率し、アメリカやイギリス、韓国でのホームステイを通して音楽・スポーツ・文化交流など多岐に渡って国際交流を行って参りました。平成二十年、善行会熊本県宇土支部入会と同時に事務局長の任を受け十七年の間、春秋表彰伝達式の開催、広報誌発行創立十周年の記念事業と記念誌編集、さらには平成二十五年、平成三十年に九州支部会議開催に奔走、いずれも一人の力ではなく、共に活動を支えてくださった多くの皆様のご理解とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。これからも「初心忘れず」、善行のともしびに微力ながら事務局から支援を続けてまいります。

●●銀 章●●

「火の用心」を
呼びかけて四十年

大阪府堺市
堀内 久續
(みいけだい幼稚園)

善行会員として十五年、この度、令和七年度特別善行銀章を賜り心より御礼申し上げます。当園は昭和五十四年、「人社会、自然に貢献できる人作り」という教育理念に基づき、「体力」「集中力」「忍耐力」といった幼児の基礎能力を育てることを教育方針とし設立されました。昭和六一年、南消防署の肝いりで、幼児教育の環として、幼児期における火に対する正しい躰



を身につけさせ、幼稚園及び家庭からの火災の減少を図るとともに、将来社会人としての必要な防火知識を養うことを目的とした幼年消防クラブが結成されました。その行事の一つとして毎年、秋の火災予防運動の期間中に、泉ヶ丘駅前にて、「火の用心」を呼びかけ、街頭防火宣言を実施しています。この受賞を機に静かに黙々と無の奉仕を継続できようがんばりたく思っています。ありがとうございます。

支部だより

群馬県北毛支部

第五回春の環境美化
活動の実施について

群馬県北毛支部長
島村 弘子



群馬県北毛支部では、令和三年以来恒例となつた「第五回春の環境美化活動」を去る四月二十九日(火)昭和の日、渋川市の利根川河川敷公園と北橋総合グラウンド周辺において、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団と合同で行いました。この環境美化活動には、当支部長以下七十四人の会員、大同特殊鋼無線赤十字奉仕団十六人の総勢九十人が参加し、空缶やペットボトルなどのごみ拾いを行いました。

同支部の会員は日頃から、散歩しながらごみ拾いなどのボランティア活動を行っています。令和三年度から同支部の事業活動の一環として、会員融和のため、環境美化活動を継続的に計画・実施しています。今回で五回目となり、大勢の会員はもとより、会員との繋がりのある大同特殊鋼無線赤十字奉仕団から合同参加の申し出があり、継続的に協力しあっています。青空と新緑のもと、利

佐賀県唐津支部

令和七年度定期総会
開催の報告

佐賀県唐津支部長
藤元 秀幸

令和七年五月十七日(土)午前十時から、唐津市・長松公民館中会議室に於いて、令和七年度の定期総会を開催しました。当日は、特別表彰(銀章)表彰式伝達も同時に開催する予定でしたが、あいにく、日程の調整がつかず、参集殿での表彰

式と重なってしまい、伝達式については後日行うことになりました。議題として、令和六年度の事業報告及び会計報告・監査報告、会員の退会報告・新規加入者の紹介、令和七年度の事業予定(案)・予算(案)について熱心な審議をいただき、いずれも原案どおり承認されました。これまで、支部会員が高齢化のために年々減少していましたが、今回は新しく若い四名の方加入していただき、支部もさらに活性化できたものと思えます。また、令和七年度は、九州



ブロック大会が当支部で開催されるということで、大会が成功するよう会員全員で団結し頑張ろうと宣誓し、会を終了いたしました。



根川の清流を間近に見ながら実施したところ、空き缶、ペットボトルなどのごみのほか、古タイヤも拾い集められ、その量は、軽トラック約一台分と、思いも寄らない沢山のごみを拾い集めることができて、参加者全員が環境美化活動の充実感と意識高揚を図ることができました。これらの状況が、地元紙「北毛新聞」に四月三十日に掲載され、大いに善行精神をアピールすることが出来ました。

令和七年度定時総会を開催

― 令和六年度事業報告・決算報告等審議決定 ―

一般社団法人日本善行

会は、令和七年六月十一日(水)グランドヒル市ヶ谷会議室(東京都新宿区)において、令和七年度定時総会を高田副会長の進行で開催した。

はじめに、本会前理事・魚沼支部長の中嶋成夫様、理事の飯田勝男様、石川県金沢支部長の野村勇一様他、前回総会以降ご逝去された会員諸氏のご冥福を祈り黙祷をさされた。

げた。

続いて、勝野会長から挨拶があり、議長に群馬県の島村弘子氏が選出され、議事に入った。

第一号議案「令和六年度事業報告及び収支決算報告」について、事務局から議案内容の説明、浦野監事から監査結果の報告があつた後、審議に入り、質疑の後、原案どおり議決された。

次に、報告事項のとし

会長あいさつ

会長 勝野 堅 介

今日は、令和七年度の日本善行会総会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

コロナ禍もどうやら落ち着き、ここ数年、日本善行会本部の主要行事も、各支部の様々な活動もほぼ順調に実施されてきております。さる五月十七日には、明治神宮参集殿において春季善行表彰式、特別善行表彰式を開催いたしました。

再来年は、日本善行会

は創立九十周年を迎えます。厳しい財政状況、

会員の高齢化、会員数の

伸び悩みなど多くの課

題はありますが、地道な努力を着実に積み上げて、日本善行会の理念である「明るく住みよい社会づくり」のための活動を充実していくことが求められていると思っております。

本日の午前は、理事会が開催されましたが、日本善行会の活動全般について活発な意見交換が行われました。この総会においても善行会の活動や運営全般について忌憚のない意見交換ができればと思っております。

重ねてご出席いただきましたことに御礼申し上げますとともに、今後の善行会の活動につきましてご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

令和七年度 第一回理事会 (みなし決議)

令和七年度 第二回理事会

令和七年四月十八日、会長勝野堅介が理事及び監事に対して、令和六年度事業報告書及び決算報告書の承認について提案を行い、当該提案について理事全員から書面による同意の意思表示を得、かつ、監事全員から異議を申し立てない旨の確認の意思表示を書面により得たため、一般社団法人日本善行会定款三十二条二項の規定に基づき、決議事項を可決する旨の理事会の決議があつたものとみなされました。

日本善行会は本年度第二回理事会を、令和七年六月十一日(水)十一時から、グランドヒル市ヶ谷会議室で開催した。理事会は、定款の規定により、勝野会長が議長となり、議事に入った。

○決議事項

第一号議案「新支部の設置について」事務局から、議案内容の説明を受けて審議した結果、原案とおり栃木県・県央支部の設置が承認された。

○報告事項

(一) みなし決議 (令和

計 報



日本音楽協会
森川 正子 様

本年四月二十六日、日本音楽協会森川正子先生(享年八六歳)が逝去されました。

森川先生には、長年にわたり日本善行会の善行表彰式におきまして、「日本善行会の歌」の歌唱指導をしていただきました。

先生の素晴らしいお声と巧みな歌唱指導は、毎回参加者に深い感銘を与え、「日本善行会の歌」の普及にご貢献をされました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



総会で 議決された 議案の内容

○決議事項

令和六年度事業報告及び決算報告について
令和六年度事業報告では、令和六年度事業計画に盛り込まれた春秋の善行表彰を初めとする各事業を滞りなく実施しました。

また、決算報告においては、収入面では、前年度に比較し、受取会費(会費収入)が▲(マイナス)百九十七万円と減少になったものの、

寄付金収入が△(プラス)百三十一万円、雑収入が△二十三万円増加し、経常収益は、前年度に対し▲四十三万円の千四百七十九万円となりました。

支出の部では、過渡的な費用(人件費や褒章費等)の増加により、前年度比較で▲五百八十三万円の千四百二十二万円となりました。

○報告事項

令和七年度事業計画及び収支予算について
事業計画では、春秋の善行表彰、善行実践活動の推進、長寿善行者の秋



正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

勘定科目	本年度決算額	前年度決算額	増 減
I. 経常収益			
①受取会費	12,343,250	14,320,000	△ 1,976,750
普通会員会費収入	10,257,500	11,056,000	△ 798,500
特別会員会費収入	1,820,000	3,010,000	△ 1,190,000
賛助会員会費収入	265,750	254,000	11,750
②寄付金等収入	2,106,825	791,000	1,315,825
③雑 収 入	343,947	112,342	231,605
経常収益計	14,794,022	15,223,342	△ 429,320
II. 経常費用			
①事業費支出	21,665,513	17,167,513	4,498,000
②管理費支出	7,355,899	6,448,581	907,318
経常費用計	29,021,412	23,616,094	5,405,318
当期経常増減額	△ 14,227,390	△ 8,392,752	△ 5,834,638
一般正味財産期首残高	118,776,194	127,168,946	△ 8,392,752
正味財産期末残高	104,548,804	118,776,194	△ 14,227,390